

6. 発表業績・報道実績

(1) 学術誌・学会等での発表（掲載は発表の時系列順）

発表業績	発表（発 明）者所属	発表(発明)者氏名	発表誌.巻(号), 掲載 頁（最初の頁-最終 頁）, 発行年
Development of primer-probe sets for environmental DNA-based monitoring of pond smelt <i>Hypomesus nipponensis</i> and Japanese icefish <i>Salangichthys microdon</i>	内水面科	Teruhiko Takahara, Katsuya Fukui, Daisuke Hiramatsu, Hideyuki Doi, Masato Fujii, Toshifumi Minamoto	Landscape and Ecological Engineering 19, 11–19 (2023)
Transport of reactive materials in the Sea of Japan: Implications from fine-resolution surface distribution of $^{228}\text{Th}/^{228}\text{Ra}$ ratio	海洋資源科	Mutsuo Inoue, Yuhei Shirovani, Toshiki Morokado, Shotaro Hanaki, Hiroaki Kameyama, Hisaki Kofuji, Akira Okino, Masa-aki Yoshida, Shizuho Miki, Takafumi Shikata, Naoto Honda, Tetsutaro Takikawa, Masaya Morita, Seiya Nagao	Continental Shelf Research Volume 241 (1 May 2022) 104749
島根半島沿岸域におけるアカアマダイの種苗放流効果	内水面科	松本洋典	水産増殖 70 (2), 121–130 (2022)
日本海南西海域産アカムツの資源特性値の把握と資源量推定	浅海科	金元保之, 八木佑太, 田中空太, 金岩美幸, 松本洋典, 大田寿行, 河野光久, 寺門弘悦, 道根 淳, 川内陽平, 酒井 猛, 矢野寿和, 金岩 稔	日本水産学会誌 88 (5), 365–385 (2022)
近赤外分光法の水産業の現場への応用（どんちっちアジの脂質評価） （シンポジウム記録 水産物品質の非破壊計測技術）	沿岸漁業研究 推進スタッフ 浅海科 利用化学科	清川智之, 開内 洋, 石橋泰史, 久米英浩	日本水産学会誌 88 (5), 413 (2022)
江の川におけるアユ仔魚の流下動態に関する基礎的検討	海洋資源科	花岡拓身, 赤松良久, 新谷哲也, 齋藤稔, 寺門弘悦	土木学会論文集 B1 (水工学) 78, I_841–I_846 (2022)
高津川におけるアユの遡上不良と親魚保護の重要性について	内水面科	沖 真徳	全国湖沼河川養殖研究会第 94 回大会要録, 83–90 (2022.9.8)
脂質測定器の活用に向けた対象魚種の拡大	利用化学科	石橋泰史, 寺谷俊紀, 開内 洋, 久米英浩, 大野 修, 岩崎一雄, 野口康宏, Maciej Kretkowski	令和 4 年度水産利用関係研究開発推進会議 研究会資料, 48–49 (2022.11.15–16)
近赤外分光法を用いた脂質測定による, 島根県浜田市で漁獲される脂が乗って美味しいマアジ「どんちっちアジ」のブランド化の取り組み（農業・食品セッション 1 招待講演）	沿岸漁業研究 推進スタッフ 浅海科 利用化学科	清川智之, 開内 洋, 石橋泰史, 久米英浩	第 38 回近赤外フォーラム(2022.12.15–17)
赤潮の発生シナリオと予察 日本海西部海域	沿岸漁業研究 推進スタッフ	鬼塚 剛, 清川智之, 鈴木雅巳, 福本一彦, 柿並宏明, 坂本節子	月刊養殖ビジネス第 59 巻・第 13 号 28–32 (2022.12.1)

高津川におけるアユの遡上不良と親魚保護の重要性について	内水面科	沖 真徳	第 94 回全国湖沼河川養殖研究会(2022.9.8)
あなごかご漁業用餌料へのグリシンの添加効果	海洋資源科 利用化学科	寺門弘悦, 沖野 晃, 岡本 満	第 25 回アナゴ漁業資源研究会 (2022.12.13)
Distribution and geographic differences in stable isotope ratios of diamond squid <i>Thysanoteuthis rhombus</i> (Cephalopoda: Thysanoteuthidae) in Japanese waters	海洋資源科	Seiji Ohshimo, Taketoshi Kodama, Atsushi Tawa, Hiroshige Tanaka, Yousuke Tanaka, Go Yasuhara, Michihiro Tokuyasu, Yoichi MInami	Fisheries Oceanography, 32(3) 255–266 (2022)
宍道湖におけるヤマトシジミ資源の変動（資源変動にかかる特性値把握への試行錯誤）	内水面科	松本洋典	第 17 回シジミ資源研究会(2023.2.14)

(2) 報道実績

日付	新聞社	記事	担当部署
R04/04/21	山陰中央	どんちっちアジ初水揚げ 4月流通開始 4年ぶり早さ	利用化学科
R04/05/14	山陰中央	ナマコ放流効果アップへ技術開発	浅海科
R04/05/17	山陰中央	浜田産アナゴ メス多く大型 謎の生態、県など調査	海洋資源科
R04/06/03	みなと	量前年並み9万トン 島根県21年漁獲動向	海洋資源科
R04/06/22	山陰中央	リュウグウノツカイ発見 持石海岸	海洋資源科
R04/07/06	山陰中央	出羽川魚160匹死骸 原因特定できず	利用化学科
R04/07/15	水産経済	沖底は水揚金額15%増 21年漁期底びき網漁業 アカムツなど平年上回る 島根県水産技術センター	海洋資源科
R04/07/20	山陰中央	島根の漁業に異変 海水温上昇、専門家が説く	海洋資源科
R04/07/20	みなと	宍道湖シジミ、小型成貝減少	内水面科
R04/07/24	中国	アユ釣り10年ぶり好調 日本海側河川昨年の300倍遡上も親魚放流など「どん底脱出」	内水面科
R04/08/02	山陰中央	宍道湖ヤマトシジミ資源減少 今後の水揚げに影響か	内水面科
R04/08/06	山陰中央	どんちっちアジ、白イカ不漁 浜田、境漁港	利用化学科
R04/09/06	山陰経済ウイークリー	マナマコの種苗生産に成功 島根県水産技術センター 浜田で3500個体放流	浅海科
R04/09/07	中国	ナマコ種苗生産に成功 漁業者の収入安定を目指す	浅海科
R04/09/13	読売	ナマコ 種苗生産に成功 受精卵を飼育 3500体放流 島根県水産技術センター	浅海科
R04/09/17	山陰中央	養殖赤貝 出荷量大幅減 貧酸素水域拡大原因か 中海漁協	浅海科
R04/09/29	水産経済	今年も厳しい見通し 県水産技術センター 島根県ケンサキ来遊	海洋資源科

R04/10/15	山陰中央	ブランド戦略 再構築必要 岐路に立つ「どんちっち」 アジ水揚げ減少 脂質ばらつき	海洋資源科
R04/10/26	山陰中央	浜田のマアジ 銘柄魚に 第56回産業賞第1部門(農林畜水産) 浜田市水産物ブランド化戦略会議専門部会会長 渡辺祐二さん	利用化学科
R04/10/26	山陰中央	江の川養殖アユ、ブランド化へ 健康成分の多さ 前面に販売	利用化学科
R04/12/13	中国	マナマコ漁獲 大きさに目安 資源確保へ「こぶし2個半」以上	海洋資源科
R04/12/14	中国	宍道湖 シジミ過去最多 当面の漁獲 安定見込む 10月調査 4万6169トン 今春の2.1倍	内水面科
R04/12/14	みなと	宍道湖シジミ資源、春の倍 島根県「漁獲安定」予想	内水面科
R04/12/21	読売	マナマコ 漁獲サイズ見直し 「拳2.5個分」以上のものを	海洋資源科
R05/01/06	山陰中央	シジミ資源量 7万1802トン 宍道湖 過去3番目の多さ 昨年10月	内水面科
R05/02/26	朝日	取れないマハゼ 伸び悩む消費 15年で2千キロ→6.9キロ	浅海科
R05/02/28	山陰経済ウイークリー	漁業者の安定収入源に注目 温暖化進む海で育つ養殖も潤う ビジネス 名産わかめ	浅海科
R05/03/16	山陰中央	生まれ変わるか浜田漁港 (2) 海の異変と購買力低下 地元外船にも選ばれる港に	海洋資源科
R05/03/18	山陰中央	生まれ変わるか浜田漁港 (4) 決断迫られる新船建造 市場生かして収益改善を	利用化学科
R05/03/24	山陰中央	沿岸漁業に ICT 活用 浜田で研究成果発表会	海洋資源科